



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東・大  
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)島 正博  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理財務部長 (氏名)南木 隆 TEL 073(471)0511  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	30,996	24.9	4,458	—	△356	—	△1,194	—
22年3月期第3四半期	24,807	△38.9	△1,382	—	△1,568	—	△777	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△34 56	—
22年3月期第3四半期	△22 49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	112,916	84,485	74.8	2,442 07
22年3月期	110,062	87,473	79.5	2,529 67

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 84,435百万円 22年3月期 87,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20 00	—	10 00	30 00
23年3月期	—	17 50	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	17 50	35 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	48,000	30.2	8,000	—	3,500	—	1,300	—	37 60	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社（ — ）、除外 — 社（ — ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	36,600,000株	22年3月期	36,600,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期3Q	2,024,539株	22年3月期	2,023,379株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期3Q	34,576,167株	22年3月期3Q	34,577,929株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における経済の動向は、新興国の高い経済成長に牽引される形で、欧米先進国においても輸出が拡大し、企業の景況感に明るさが見られるようになりましたが、雇用情勢は依然として厳しく、本格的な景気回復には至っていない状況です。わが国においても新興国需要により企業収益は改善基調にあるものの、急速な円高の進行と株式市場の低迷、雇用不安を背景として景気の先行きには依然として不透明感が漂っています。

このような経済情勢の中で当社のコア・ビジネスである横編機事業では、衣料品需要の回復により、世界の主要ニット生産地域において生産量が拡大したことでコンピュータ横編機の設備投資が回復しました。ニット製品の需要時期にあたる第3四半期(10月～12月)においては設備更新が停滞しましたが、累計期間全体としては好調な売上推移となりました。特に主力の中国市場においては、人件費の高騰と若年労働力の不足を背景に手動式横編機からコンピュータ横編機への転換が加速しました。また中東のトルコ、欧州のイタリアや南米のブラジル、その他アジアの新興国でも設備投資が拡大した結果、横編機事業の売上高は255億52百万円(前年同期比22.9%増)となりました。

デザインシステム関連事業におきましてもアパレルデザインワークステーション「SDS-ONE」の販売が好調に推移し、売上高は11億73百万円(前年同期比34.7%増)となりました。手袋靴下編機事業もアジアの新興国で設備投資が拡がり売上高は12億5百万円(前年同期比604.5%増)と回復しました。

これらの結果、当第3四半期累計期間全体の売上高は309億96百万円(前年同期比24.9%増)となりました。利益面におきましては、コストダウン活動の徹底や生産台数の増加に伴って売上総利益率が向上したことや、グループ全社における経費削減の取組みにより販売費及び一般管理費比率が低下したことや営業利益は44億58百万円(前年同期は13億82百万円の損失)と増加しました。しかしながら、急激な円高の進行により大幅な為替差損が発生し、経常損益は3億56百万円の損失(前年同期は15億68百万円の損失)となりました。さらに投資有価証券評価損などの特別損失を計上したことで、当四半期純損失は11億94百万円(前年同期は7億77百万円の損失)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は前期末に比べて28億53百万円増加し、1,129億16百万円となりました。また、純資産の額から新株予約権及び少数株主持分を控除した自己資本の額は844億35百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて4.7ポイント低下し、74.8%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においてはたな卸資産の増加等はありませんでしたが、仕入債務の増加等により15億68百万円の資金の増加(前年同期は34億13百万円の増加)となりました。投資活動においては有価証券の取得及び有形固定資産の取得等により18億54百万円の資金の減少(前年同期は25億19百万円の減少)となりました。また、財務活動においては短期及び長期借入金の増加等により43億96百万円の資金の増加(前年同期は48億83百万円の資金の減少)となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は188億82百万円となり、前期末に比べて25億64百万円増加しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

海外連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益は6百万円減少し、経常損失は6百万円、税金等調整前四半期純損失は132百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は178百万円であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,244	16,961
受取手形及び売掛金	31,594	33,655
有価証券	2,018	1,400
たな卸資産	18,160	16,051
その他	4,193	3,661
貸倒引当金	△2,543	△2,871
流動資産合計	73,667	68,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,139	6,481
土地	11,000	10,992
その他(純額)	3,486	3,621
有形固定資産合計	20,626	21,095
無形固定資産		
のれん	5,785	6,763
その他	121	133
無形固定資産合計	5,907	6,897
投資その他の資産		
投資有価証券	7,269	7,481
その他	7,343	7,981
貸倒引当金	△1,897	△2,253
投資その他の資産合計	12,715	13,209
固定資産合計	39,248	41,202
資産合計	112,916	110,062
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,675	5,804
短期借入金	7,699	1,839
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	1,941
未払法人税等	454	236
賞与引当金	273	707
債務保証損失引当金	406	407
その他	3,868	4,139
流動負債合計	20,378	16,076

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	4,500	3,000
退職給付引当金	1,450	1,541
役員退職慰労引当金	1,073	1,144
その他	1,028	827
<b>固定負債合計</b>	<b>8,052</b>	<b>6,513</b>
<b>負債合計</b>	<b>28,430</b>	<b>22,589</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	66,269	68,415
自己株式	△6,400	△6,398
<b>株主資本合計</b>	<b>96,453</b>	<b>98,601</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	△476	△1,061
土地再評価差額金	△7,433	△7,433
為替換算調整勘定	△4,107	△2,639
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△12,017</b>	<b>△11,133</b>
新株予約権	39	—
少数株主持分	11	5
<b>純資産合計</b>	<b>84,485</b>	<b>87,473</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>112,916</b>	<b>110,062</b>

## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	24,807	30,996
売上原価	15,843	16,981
売上総利益	8,964	14,014
販売費及び一般管理費	10,347	9,556
営業利益又は営業損失(△)	△1,382	4,458
営業外収益		
受取利息	493	298
受取配当金	54	68
その他	331	172
営業外収益合計	879	539
営業外費用		
支払利息	231	54
為替差損	796	5,210
その他	37	89
営業外費用合計	1,065	5,354
経常損失(△)	△1,568	△356
特別利益		
為替換算調整勘定取崩額	459	—
貸倒引当金戻入益	—	411
その他	66	—
特別利益合計	525	411
特別損失		
固定資産除売却損	37	14
投資有価証券評価損	38	1,573
関係会社整理損	83	—
関係会社出資金評価損	—	30
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	125
特別損失合計	159	1,744
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,202	△1,690
法人税、住民税及び事業税	107	567
法人税等調整額	△532	△1,062
法人税等合計	△425	△495
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△1,194
少数株主利益	0	0
四半期純損失(△)	△777	△1,194

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,202	△1,690
減価償却費	1,509	1,211
のれん償却額	374	286
貸倒引当金の増減額(△は減少)	313	△421
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	54	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△413	△424
受取利息及び受取配当金	△547	△366
支払利息	231	54
為替差損益(△は益)	12	2,794
有形固定資産売却損益(△は益)	1	2
有形固定資産除却損	36	10
投資有価証券評価損益(△は益)	38	1,573
関係会社整理損	83	—
為替換算調整勘定取崩額(△は益)	△459	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	125
売上債権の増減額(△は増加)	1,382	△1,372
たな卸資産の増減額(△は増加)	△537	△2,866
仕入債務の増減額(△は減少)	△302	2,426
その他	248	188
<b>小計</b>	<b>822</b>	<b>1,533</b>
利息及び配当金の受取額	565	368
利息の支払額	△230	△34
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	2,255	△299
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,413</b>	<b>1,568</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,467	△2,094
定期預金の払戻による収入	308	1,869
有価証券の取得による支出	△3,397	△1,996
有価証券の売却による収入	2,898	1,399
有形固定資産の取得による支出	△1,358	△434
有形固定資産の売却による収入	438	12
投資有価証券の取得による支出	△504	△425
投資有価証券の売却による収入	40	25
子会社の清算による収入	590	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△12	△24
その他	△55	△187
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,519</b>	<b>△1,854</b>

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,633	5,856
長期借入れによる収入	3,000	1,500
長期借入金の返済による支出	△3,000	—
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△1,143	△894
社債の償還による支出	—	△1,940
その他	△104	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,883	4,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△334	△1,545
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,324	2,564
現金及び現金同等物の期首残高	19,310	16,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,985	18,882

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：百万円)

	横編機事業	デザインシステム関連事業	手袋靴下編機事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	20,797	871	171	2,967	24,807	—	24,807
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	20,797	871	171	2,967	24,807	—	24,807
営業利益又は営業損失(△)	2,755	△112	△26	△603	2,013	(3,395)	△1,382

(注) 1 事業の区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品等

- (1) 横編機事業 ……コンピュータ横編機、セミジャカード横編機  
 (2) デザインシステム関連事業 ……コンピュータデザインシステム、ニットCADシステム、アパレルCAD/CAMシステム  
 (3) 手袋靴下編機事業 ……シームレス手袋・靴下編機  
 (4) その他事業 ……編機・デザインシステム用部品、ニット製品製造卸売業、修理、保守、ホテル業

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	東南アジア	欧州	北米	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	7,916	12,059	4,373	457	24,807	—	24,807
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12,609	184	0	—	12,794	(12,794)	—
計	20,526	12,244	4,374	457	37,602	(12,794)	24,807
営業利益又は営業損失(△)	3,230	446	△442	△393	2,840	(4,223)	△1,382

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 欧州……………英国・イタリア・スペイン  
 (2) 東南アジア……中国  
 (3) 北米……………米国

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	欧州	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	4,437	15,977	2,204	22,619
II 連結売上高	—	—	—	24,807
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	17.9%	64.4%	8.9%	91.2%

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………イタリア・英国

(2) 東南アジア……………中国・韓国

(3) その他の地域……………ブラジル・米国・トルコ・シリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業本部を置き、取り扱う製品・サービスごとに国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は製品・サービス別セグメントから構成されており、「横編機事業」、「デザインシステム関連事業」、「手袋靴下編機事業」の3つを報告セグメントとしております。

「横編機事業」は、コンピュータ横編機・セミジャカード横編機の製造販売をしております。「デザインシステム関連事業」は、コンピュータデザインシステム・アパレルCAD/CAMシステム等の製造販売をしております。「手袋靴下編機事業」は、シームレス手袋・靴下編機の製造販売をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,552	1,173	1,205	27,932	3,064	30,996
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,552	1,173	1,205	27,932	3,064	30,996
セグメント利益	7,632	129	311	8,072	△104	7,968

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,072
「その他」の区分の利益	△104
全社費用（注）	△3,510
四半期連結損益計算書の営業利益	4,458

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(追加情報)

第1 四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	生産高	前年同四半期比
横編機	26,139	133.1%
デザインシステム関連	1,394	196.2%
手袋靴下編機	1,279	1,068.0%
合計	28,813	140.8%

(注) 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	26,139	126.6%	7,784	104.3%
デザインシステム関連	1,196	132.7%	263	188.5%
手袋靴下編機	1,223	738.7%	159	2,102.5%
合計	28,558	131.5%	8,208	107.9%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	25,552	122.9%
デザインシステム関連	1,173	134.7%
手袋靴下編機	1,205	704.5%
その他	3,064	103.3%
合計	30,996	124.9%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。